

事業報告書

団体名	大鷹沢郷土愛好会
代表者役職・氏名	会 長 遠藤友三郎
事業名	大鷹沢地区の史跡を巡り悠久へ【三沢城址】
実施した事業の内容 ・活動内容 ・実施日時 ・場所 ・参加人数 等	<p>1 実施日時等</p> <p>① 日 時 令和7年6月8日 15時00分～16時00分 実施場所 大鷹沢公民館 活動内容 事業内容の打ち合わせ 参加人員 7名（竹井英文教授座長・予定人数8）</p> <p>② 日 時 令和7年9月6日 13時00分～16時00分 実施場所 福島県 桑折西山城址 活動内容 桑折西山城址を視察（添付写真及びパンフレット参照、なお地元案内人4名での説明受ける） 参加人員 16名（予定人数18名）</p> <p>③ 日 時 令和7年11月1日 10時00分～11時30分 実施場所 大鷹沢公民館 活動内容 講演会 演題「三沢城を守る・伝える・活かす」 講演者 竹井英文氏（東北学院大学教授） 参加人員 40名（予定人数50名）</p>
事業の成果や効果	<p>1 成果 講演会を開催したことにより、史跡や遺跡は後生へ残すべき貴重な遺産だ、と参加者の方々に深く認識されたものと思います。 また、山城整備の先進地ともいえる、桑折西山城址の研修では、そのすばらしさに互いに驚愕し、三沢城址もこの様に整備し、市民の憩いの場として活かしたいものだ、と話していた。</p> <p>2 効果 今回の講演会及び視察研修で、参加された方々が一様に感じたことは、自分の膝元に歴史的にも貴重な遺産が存在してある事に驚き、さらに興味をもたれた方も多かった。 これをきっかけに大鷹沢の地区の方や市民の方々に対して、三沢城址や大鷹沢地域に於ける史跡等を話して頂いて、市民に認識と興味を戴ければ、後生（悠久）へ繋がると思います。</p>
今後における事業展開	<p>今回の講演会で感じたことは、自主的参加者が少ない。当初は、最低でも50名は下るまいと思っていました。今回の40名の参加者は、ほぼ各方面に声かけしての人数で、人集めに苦労しました。その様なことから、今後は先ず地元住民が関心をもって参加できる様な企画を模索しながら、また、市等のご指導を頂きながら「三沢城を守る・伝える・活かす」の活動を進めたいと思います。</p>

【地域づくり団体等→まちづくり協議会等】

様式第V号④

収 支 決 算 書

団体名 大鷹沢郷土愛好会

1 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
人と地域が輝く 未来共創交付金	136,939	136,939	
自己資金	0	393	一般会計から
計	136,939	137,332	

2 支出の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	うち交付金充当額
講師謝金	30,000	30,000	30,000
借上料	27,500	27,500	27,500
保険料	1,609	1,092	1,092
資料作成印刷費	4,000	4,910	4,517
備品購入費	73,830	73,830	73,830
計	136,939	137,332	136,939

※ 支出を証する書類（領収書等）の写しを添付すること。